

足立議員が秋田豪雨災害現場視察

足立敏之参院議員は7月29日、秋田県大仙市の秋田豪雨災害現場を視察した。雄物川中流域や子吉川支川の芋川などを視察した後、秋田県仙



災害現場を視察する足立議員
(右から2番目)

着実整備、ダムの早期完成を 国の支援体制強化必要

北建設業協会と意見交換し、堤防などの着実な整備や国による支援体制強化などの必要性を指摘した。

豪雨災害では、堤防整備が遅れていた場所で大規模な浸水被害が発生した一方、雄物川の強首地区輪中堤や芋川の災害復旧・復旧事業など整備済み地区では大きな被害が発生しなかった。また、玉川ダムや協和ダムなどが洪水調節効果を発揮し、被害を軽減している。こうしたことから足立議員は意見交換で、対策工事などの着実な実施、成瀬ダムなどの早期完成の必要性を指摘。市町村の災害対応能力が低いため、国による支援体制の強化が不可欠との認識を示した。